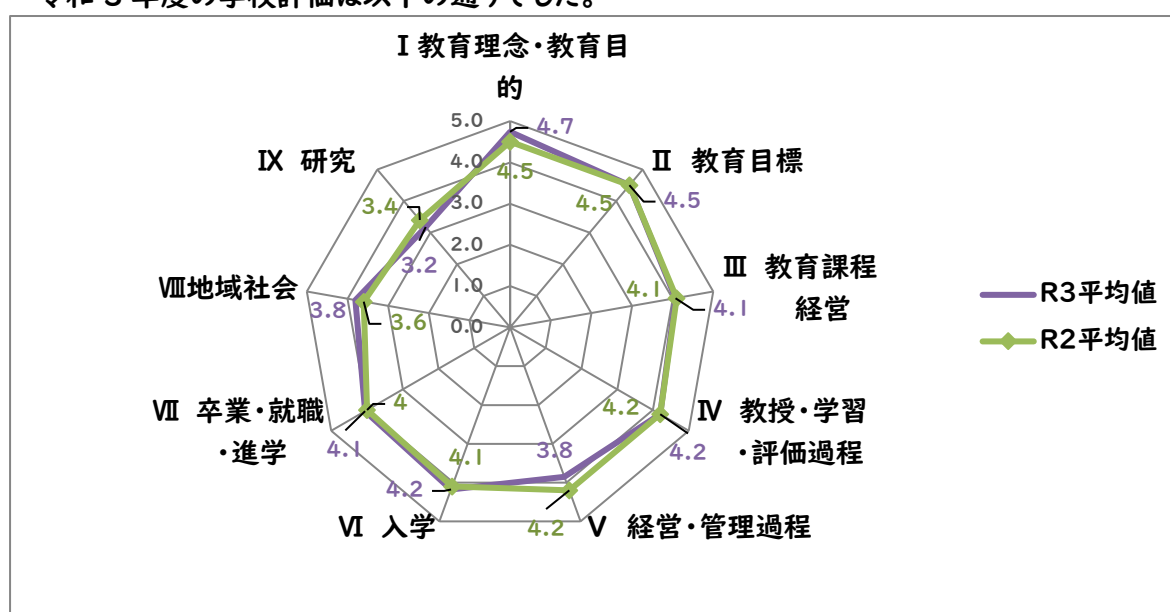


令和3年度土浦看護専門学校の学校評価

土浦看護専門学校の教育理念・教育目的は、「徳育」を基盤とし、地域に根差して活躍できる心豊かな質の高い看護師育成を目指しています。この教育理念に基づく教育水準の維持・向上を図るため、平成26年度に第1回卒業生を出したことを機に、学校運営評価を実施しています。

評価は「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を基に、9領域109項目で構成され、5「非常に当てはまる」、4「当てはまる」、3「どちらともいえない」、2「当てはまらない」、1「非常に当てはまらない」の5段階で評価しました。

令和3年度の学校評価は以下の通りでした。



令和3年度の学校評価は全体的には「V経営・管理過程」「VIII地域社会」「IX研究」以外の6領域については、4.0以上の結果となりました。また、昨年度と比べると、「I教育理念・教育目的」「VIII地域社会」において点数の向上がみられ、「V経営・管理過程」「IX研究」において点数の低下がみられました。

特に、「I教育理念・教育目的」の評価は著しく向上していました。これは、新カリキュラムの開発にあたり、教職員が建学の精神に立ち返り、自校の教育課程を俯瞰的にとらえた作業の効果と考えます。また、1月に設置者である理事長(学校長)が逝去し、学校を設置した建学の精神を引き継いで教育を行っていくという教職員の想いが、教育理念・教育目的の理解を更に深めたと考えます。

一方で「V経営・管理」は著しく低下しました。これは、学校を含めた桜水会グループ全体における代替わりへの教職員の反応の現れと考えます。この変化のなかでも、教育理念・教育目的に基づいて、健全な学校運営のため教職員一丸となって努力を続けていきたいと考えます。

「IX研究」では、教員たちは研修や学会へ主体的に参加していましたが、コロナ禍において参加が困難となった影響と考えます。各教員が教授活動の傍らでも自己の研究に取り組めるよう、意識づけを行い、今後も研究活動ができるよう支援を続けていきたいと考えています。

令和3年度 土浦学校関係者評価結果

評価項目		評価の概要
I	教育理念 教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が一丸となって、学生を一番に考えた教育が実践されている ・変わりゆく社会の変化に対応したカリキュラムが構成されている ・学生の学習指針として明確になる視点で改正作業を行った点が評価できる ・「徳育」の理念のもと、人間的成長を促している ・今後は看護観、教育観、学生観の指針とつながる教育活動についての検証も必要では
II	教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・独自教育を伸ばすとともに、社会情勢に合わせた看護実践を目指し成長発達を促すといった気づきがみられる
III	教育課程経営	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の退職やコロナ禍、カリキュラム改正の環境変化にも関わらず学生へ影響のないように配慮されていた点が評価出来る。学外実習が不十分だった点に評価の変動が現れている
IV	教授・学習 評価・過程	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の立場として相談しやすい教職員の関係構築が重要 ・授業ひとつに対し、担当外教員のアドバイスなど目標を達成するためのPDCAサイクルが出来ている ・公平性を意識した評価法の検討が必要であると考えられる
V	経営・管理過程	<ul style="list-style-type: none"> ・組織内の変化が教職員の精神的な葛藤を生み、様々な影響を及ぼしていると考えられる ・教員数が少ないこともあり、学生への影響も出ているのでは ・退職者の穴埋め、入職者の対応などの検討が必要 ・早急に打開策を講じ、前学校長の意思を継承して行って欲しい
VI	入学	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、定員を超える入学生の確保が可能となった点に、広告媒体等の努力が表れており、今後も対外的な情報提供が必須であると考えられる
VII	卒業・就職 進学	<ul style="list-style-type: none"> ・実習先に就職するケースが多く、卒業生との情報交換や就職先との連携が可能であり、卒業生へのアフターフォローも行えている。卒業生の対応から国試合格者増加の後押しにもなると考えられる
VIII	地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・情勢に合わせた教育活動の甲斐もあり、卒業生が在籍する病院等の評価が高いことから地域活性にも貢献できていると考えられる、同時に今後の活動実績を期待
IX	研究	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の情勢と職員変動により環境の複雑さが伺える。教員の探求心や向上心を構築し、最大限発揮するために環境の立て直しが必要か

